

R5八名 地域意見交換会

11月1日富岡ふるさと会館

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
八名	1	11月1日	富岡ふるさと会館	防災対策について	市の防災対策の取り組み状況、また今後の考え方について、意見交換をさせていただきたいと思います。	まずは災害が発生した場合(または災害が発生する前)、災害対策本部を立ち上げます。避難所をまず開設し、市役所の避難所担当職員を避難所に派遣をします。そして避難所運営マニュアルによりまして災害時に被災された方の支援をしていきます。地域の人々の安全を確保し、避難所が生活を再建するための地域の防災拠点として機能することを目指して、災害から命を守るため安全に避難できる場所を提供していきます。また災害で住居に被害、被災を受けた人をライフライン、電気水道ガスなどの機能が低下して生活が困難になった方につきましては、元の生活に戻れるように必要な支援を行う必要があると考えています。避難所の運営を避難所を利用する人が自主的に行うことができるように、地域の役員さんや自主防災会組織の避難所を利用する人の代表者、避難所担当の職員、施設管理者などで構成する委員会を設置して、運営に関わる事項を協議決定します。避難所は食料また物資等の配給を受けるために必要な支援を受けるため避難所状況報告書を用いまして、ファックスや電話、また伝令などで市役所の災害対策本部に連絡をすることになっています。それから避難所に避難できない、在宅で、避難、在宅避難という方、また避難所から遠い場所に滞在せざるをえない方、また、自力で避難所まで来れない人に食料や物資、また情報などを提供するための施設、これは避難所から少し離れたサテライト的な場所に例えば公民館であったり、コミュニティーセンターであったり、集会所、それから企業が協力してくださる場合には企業の事業所内の空きスペースなど、そうした場所を確保することをを行います。そして施設管理者の同意が前提になりますが、在宅避難者等を支援施設にということを決めまして、市災害対策本部にまず報告をします。そして在宅避難者等支援施設を開設したことを、避難所利用者全員に広報周知されることとします。在宅での避難生活を余儀なくされた方々に対しましては、物資や情報、また医療福祉のサービスの提供が行き届くように、見守り機能を充実させる等の必要な措置を講ずることをしていきます。(市長)	左の回答等のとおりです。(総務部長)
八名	2	11月1日	富岡ふるさと会館	避難所での医師の対応について	災害があったとき、避難所に医者がいるのかをいないのか、また回ってくるのかと教えてください。	災害が発生し、避難所開設したときの医師についてですが、災害対策本部の中の医療救護班が担当になります。担当部署は地域医療支援室になりますが、医師会、歯科医師会、薬剤師会、そういう方の協力を求めまして体制を整備していきます。保健センターに応急救護所を作るというような形になりますので、実際保健センターの保健師が避難所を回って、避難されている方の健康状態の確認をさせていただくことになるかと思えます。(健康福祉部長)	左の回答等のとおりです。(健康福祉部長)
八名	3	11月1日	富岡ふるさと会館	道路改良について	スマートICが開通すると交通量も増え、道路に危険箇所が多々あります。一鉄田地内北神田平駒場1号線、一鉄田公民館の前の道路で一部歩道ができてない箇所、大沢畳店の前の交差点の3点の道路整備について現在どうなっているか教えてください。	まず1点目の一鉄田地内北神田平駒場1号線ですが、約7年前に市で計画をさせていただきました。その中で、地域の皆様また所有者の方々からご賛同がいただけなかったということで頓挫しております。これからスマートICが進んでいくという中で、非常に重要な道路だとは考えておりますので、今後ともご理解いただけるように努力していきたいと思えます。 2点目の一鉄田公民館の前の道路で一部歩道ができてない箇所についてです。こちらにつきましても、約7年前、市の方で何度か改良をできるように、当時の一鉄田区長さんとともに地権者の方にお話をさせていただいたと思いますが、私が生きている間はご協力できないというようなご回答をいただいて断念した経過があります。そのような状況でございますが、やはり危険な箇所でございますので、今後何とか解消できるように市としては努力していきたいと考えています。 3点目の大沢畳店さんの前の交差点についても、所有者の方との話が最終的にはまとまらずに、一旦断念をしたという経過があります。やはり道路事業を行うにも、地域の皆様、そして所有者の方のご協力がないと進まないというのが現状です。市も努力していきますので、地域の皆さんにもご協力いただきたいと思えます。(建設部長)	左の回答等のとおりです。(建設部長)
八名	4	11月1日	富岡ふるさと会館	道路改良について	歩道整備をするのに縁石だけで危険回避できるのでしょうか。ガードレールがあったほうがより安全だと思いますが、市の方でもう少し積極的に安全対策をやっていただきたいと思えます。	今のガードレールの設置についてですが、国も県も市も同一の基準で設置しています。原則的には直線部分の歩道には縁石を設置しているのが現状です。カーブ区間、交差点付近の部分にはガードパイプあるいはガードレールを設置して道路整備の安全対策をしているのが今の現状です。特に学校の近く、通学路で非常に危険の高いところも当然あると思えます。通学路交通安全プログラムということで、毎年、学校、警察、建設事務所を合わせて、危険箇所のパトロールを行い危険箇所を出してもらい対策を検討するという会もありますので、またご意見の方をいただきたいと思えます。(建設部長)	左の回答等のとおりです。(建設部長)
八名	5	11月1日	富岡ふるさと会館	草刈りについて	高齢化、人口減少また農業の環境変化などもあって、地域で草刈ができないところが多々あります。特に小中学生の通学路でも草が生え放題で、交通や防犯が危険なところもあり見栄えも悪くなっています。地域協議会で意見は出しているんですが、なかなか良い解決策がありません。市全体で取り組むべき課題にもなってきていると思えます。市の考え方はどうなのか地域としてどのように対策をしていったら良いのか、具体的なアドバイスや意見をお願いします。	草刈につきましては、地域の皆さんの本当にご協力をいただいている感謝しております。また市道につきましては、優先して草刈が必要だというところは、市の作業班が中心になって行っていますが、決して十分できているとは思っていません。このようなことから、令和6年度の八名地域協議会の地域事業について、道路整備と道路維持事業をご協議をいただいています。市でできる限りは行いたいと思っておりますが、地域の皆さんのご協力もよろしくお願います。地域の計画として位置付けていただいた場合には、草刈りにかかる実費的な燃料費等の負担は、市の方で考えていきたいと思っております。また国道、県道につきましては愛知県新城設楽建設事務所の管理で、年に1回、夏に草刈作業が行われています。年に1回では足りない場所もあると思えますので、安全性が保たれていない様な場所につきましては具体的に市にお伝えしていただければ、建設事務所に要望をしてきたいと思えます。(市長)	左の回答等のとおりです。(建設部長)
八名	6	11月1日	富岡ふるさと会館	鹿対策について	夜中に八名中学校近くの道路で鹿が飛び出してきたことがあります。スマートICができると車も増えると思えますが、市で鹿よけの対策をしているのか、どんな対策があるのか教えてください。	シカ情報マップというソフトがあります。こちらを活用していただき、危険箇所を確認して気をつけていただけたらと思います。また、この場所で目撃をしたという情報が反映されていきますので、目撃した方は情報提供もしていただくご協力もお願いできればと思います。(市長)	左の回答等のとおりです。(産業振興部長)

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
八名	7	11月1日	富岡ふるさと会館	スマートICについて	<p>スマートICについて2点質問します。</p> <p>①昨年度のうちに、市の庁内プロジェクトチームで検討していただいたものが、ホームページで8点ほど掲載されておりますが、どれも実現できれば素晴らしいと思います。その後、そのプロジェクト等で提案された内容はどのように具体的に検討されて具体化を図られているのか、現在の状況をお願いします。</p> <p>②交通安全対策についてですが、豊橋下吉田線は歩道がなく大型車が通れば、通学している中学生に接触しそうなぐらい危険だと思えます。令和8年度の供用開始をまでに、歩道設置をするのであれば、早く具体的に道路の拡張設計、測量等々進めていかないと間に合わないのではと思います。早急に道路整備、対策を練っていただきたいと思えます。</p>	<p>①今、スマートICの道路の詳細設計と用地測量が完了しまして、物件調査土地補償費を算定する土地評価業務を実施しています。今後の予定は、これらの準備ができ次第、関係する地権者との用地交渉に入らせていただきまして、今年度と来年度に用地買収を行います。建設工事につきましては、来年度の下半期から入る予定となっております。地域振興策についてですが、昨年度市役所のプロジェクトチームから提案した8つの事業と八名地域協議会からご提案をいただいた産業の活性化、また定住人口の確保、観光客の誘客という観点でいただいた事業。これらの事業の実現性の検討と整理を行うために、課長級の職員で、プロジェクトチームを今年度作りしました。約10名ほどのチームですが、現在課題を含めまして都市計画、農業関連の法的事項の整理を行うとともに、民間事業者の意向を把握するための市場調査を実施しております。今後においては、意向調査の結果をもとに実現性と事業効果等を整理をして、周辺地域活性化構想を策定する予定であります。(市長)</p> <p>②安全対策についてですが、スマートIC開通を考えますというところで安全対策を考えていく必要があると思えます。今現在具体的に安全対策を進めているのは3箇所です。八名農協の前の交差点、そこから黒田の方へ数百メートルいった市道の変則の交差点(三叉路)、一畝田地内の歩道設置事業についても県で進めていただいているという状況です。あとは、萩平野大田線の舗装のほうが大分傷んで、危険性もあるということで市の方でやっているという状況でございます。ご指摘のあった豊橋下吉田線の歩道設置につきましては、今年度の愛知県の要望の中で、区長様の方からも県の方へ要望の方を伝えてござります。できるだけ早く予算確保に努めていきたいという前向きなご回答の方はいただいておりますが、引き続き要望の方をしてまいりたいと思えます。(建設部長)</p>	左の回答等のとおりです。(建設部長)
八名	8	11月1日	富岡ふるさと会館	鹿対策について	<p>市では鹿の対策をどのように行ってくれるか回答をお願いしたいと思います。鹿をよける対策ではなく、減らすこと対策をお願いしたいと思います。</p>	<p>狩猟免許を持つる猟友会の皆さんが中心となって捕獲駆除してはいますが、鹿はまだ出てくる状況です。ただ、猟友会のメンバーも高齢化し減少しておりますので、農地を守っていくという若い方に猟友会へ入っていただけるよう、行政でも促していく取り組みをしないとイケないと思っております。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(産業振興部長)
八名	9	11月1日	富岡ふるさと会館	人口減少について	<p>新城市は年々、出生数が減少しています。児童、生徒数の減少、出生の減少についてどうお考えですか。</p>	<p>特にここ3年4年の状況は、本当に深刻に受けて受けとめており、相当な危機感を持っています。人口対策については、3点あります。</p> <p>①移住定住について                      昨年の4月に市の企画部門に定住促進係という係を設置しました。また、今年の2月から、新城市へ市外から移住を考えている人に必要としている情報を提供できる移住ポータルサイトの運用を始めたところであり、情報発信のツールとして、新城ライフというインスタグラムも作りまして、市内外の若い人、それからこの地域のファンになってもらうために市外の人や、それから移住を考えている人たちに発信するSNSを使った情報発信も同時に始めました。実際に新城市の人口減少は進んでいますし、転入転出の社会減、高齢化に伴う人口減、これは止められません。その上で実際に市外から、新城市で田舎暮らしがしたいという若い方、自然環境豊かな場所で新規就農したい、有機農業を始めたい方、市の就農支援を受けて、1ターンでこちらに住んでほしい草やいちごの農業を始める若い方達もいます。また、田舎の古民家を改修して実際に居住をする若者や、古民家を改修してカフェやレストランを起業する方が増えてきています。さらに、特に令和4年度外国籍の方も大幅に増えましたし、令和5年度に入っても増えています。この地域を選んでくれて、居住してくれる人たちを大切に、さらに呼び込んでいけるような情報発信をしっかりとやっていきたいと思っております。</p> <p>②子育て支援                      子育て世代の保護者の方、それから子供さんを支援する施策としましては、こども園制度を国に先駆けて一早く導入をしました。保育料も無償化の導入、こども園の給食も無償化をしています。さらには中学校の少人数学級の実現ということで令和4年度から35人を超えない少人数学級の運営を始めたところです。医療費の無償化について、高校生の通院がまだ市費での補助ができていませんが、今年度を検討しているところであります。</p> <p>③婚活事業について                      現在農協さんとも婚活事業を行っていますが、コロナ禍の中、婚活事業ができていませんでしたが、元通りの状況になってきたので、地域の皆さんの協力もいただきながら、出会いの場を創造するような事業も市でお手伝いしていきたいと考えています。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(企画部長、健康福祉部長、教育部長)
八名	10	11月1日	富岡ふるさと会館	子育て支援や移住定住支援政策の効果について	<p>子育て支援や移住定住支援の政策が、実際に人口減にどの程度の歯止めがかかったのかとか、どういう効果があったのか検証について、なかなか目にする機会がありません。</p>	<p>子育て支援策や人口対策の効果の検証についてですが、市の情報政策の方で、人口の動向を年代単位で、どのように推移しているのかを分析をしています。一つ説明できることとしては、過去5年0歳～14歳まで、その中でも特に0歳から4歳までの年代につきましては、市外に転出するよりも転入の方が若干多いという状況は確認しています。転入が多いということは、子供さんだけでなく当然保護者の方も、一緒に来てくださってこの地域に住んでくださるということは大変大きな効果になっていると思っております。ただ、出生率は低いので、そのための対策は必要だと感じています。(市長)</p>	<p>令和4年度に移住定住の部署を創設するとともに移住定住ポータルサイトやインスタグラムを開設しました。これらを活用しながら、全国規模の移住希望者が集うイベント等へ参加して本市のPRを行っています。移住から定住へと繋げるためには、移住を強要するのではなく、本市を訪れていただき魅力を感じていただくことが第一歩となります。しかし、魅力を感じていただくものは多岐にわたるため、これといった特効薬はございません。本市の第2次総合計画では、人口減少を受け入れながら減少の速度を緩和させていくためのまちづくりをしていくとしております。移住定住の施策は効果が表れるまでに長い期間を要し、見えづらいますが、今後でもできることからチャレンジしてまいります。(企画部長)</p> <p>現在転入者を対象にアンケートを実施し、調査しています。(健康福祉部長)</p>
八名	11	11月1日	富岡ふるさと会館	移住定住について	<p>先日、田舎に定住したいというようなことを考えていらっしゃるグループの方と偶然お話しする機会がありまして、その中には新城市に移住したいということを考えていらっしゃる方もいました。ただ、田舎に住みたいというようなことを考えている人はいるけど、受け入れてくれない、順番待ちだとも話しており、市と移住希望者との話がミスマッチしているように感じています。実際の状況はどうか教えてください。</p>	<p>田舎暮らしを考えている方たちから大変貴重な意見いただけたと思いますので、そういう方とお話できるような機会を作っていただけるよう、市とつないでいただきたいと思っております。具体的にどのような問題があるのか知る必要もあると思っておりますので、情報をお願いしたいと思います。(市長)</p>	左の回答等のとおりです。(企画部長)
八名	12	11月1日	富岡ふるさと会館	地域での居場所について	<p>結カフェで、地域の年配の方をお相手に体操教室とか、ちょっとしたゲームみたいなことをやらせていただいています。皆さんすぐ楽しそうに集まってきてくださっていて、参加者の方が増えているのを見て、地域コミュニティーみたいな居場所があることは大切なことだと感じています。安心して年を重ねていく上で大変重要なことだとも感じていますので、そういった場をこの地域にもずっと是非とも作っていただきたいと思っております。</p>	<p>結カフェでの体操教室を行っていただきこれ毎週やっていたら、ありがとうございます。八名マルシェの皆さんを中心とした地域の皆さんのご協力でもうした活動していただいていることを聞いておりますし、地域の中で支え合う活動は、とても大事なことであります。また具体的にそういう活動を運営していく中でですね、いろんなご意見いただきまして、何か結カフェだけではなく支援できることがあれば考えていきたいと思っております。(市長)</p>	<p>高齢者の地域での居場所として、高齢者生きがい活動支援事業(ミニデイサービス)、認知症カフェ(結カフェ)があります。地域の中で支え合う取り組みは、とても重要な事と考えていますので、活動の立上げ、運営の支援等、積極的に関わっていききたいと思います。(健康福祉部長)</p>

## R5八名 地域意見交換会

11月1日富岡ふるさと会館

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
八名	13	11月1日	富岡ふるさと会館	住んでいない土地所有者について	先程出ていた質問の回答で歩道を整備するために道路改良をしたくても所有者の方からの同意を得られないため断念しているとありましたが、その所有者の方はこの地域に住んでないと思います。草刈りでもそうです。所有者が住んでいない土地も地域の方がボランティアで草刈りをやっていることもあると思います。所有者の固定資産税を3倍にして、ボランティアの方の手当に充てるなどすべきだと思います。	回答なし(ご意見として承ります。)	—
八名	14	11月1日	富岡ふるさと会館	児童クラブについて	最近児童クラブに入れなくて困っている親御さん、子供さんがたくさんいます。特に夏休みには上の子が入れなくて下の子が入れたという話もよく聞き、今年の夏休みは八名マルシェで、お母さんたちが協力して子供たちの宿題を見たり、レクリエーションなどをして過ごすように、地域みんなで児童クラブに入れなくて子供たちのために取り組みをしてきました。市では児童クラブの件について、どのような対策を考えてますか。	今年度児童クラブに入れなくておみえになりました。理由として、指導員の確保がでなかつたということが大きくありまして、夏休み長期休暇については、大変ご不便をおかけしました。ただ今現時点で通年利用されてる方については、待機している方はいない状況です。来年度、そのような状況が発生しないように、対策の方を考えていきたいと思っています。(健康福祉部長)	左の回答等のとおりです。(健康福祉部長)